アール･アイローリング

製品コード：RIR-10/RIR-20/RIR-50

リース

吊り用滑車として、トラスや長梁の均等吊りや、柱などの立て起こしの均等吊りにご使用いただけます。

アール･アイローリングのシーブピッチ円の直径は、**ワイヤ径の10倍**を確保しております。

ワイヤ用エコライザシーブ

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様･寸法･材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

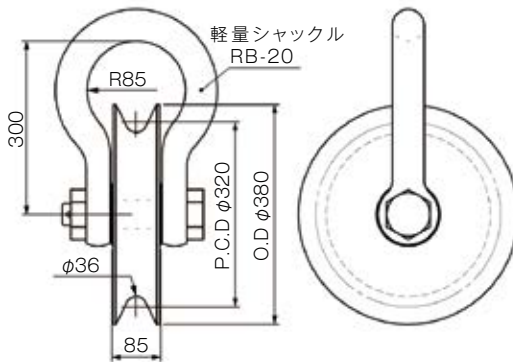
RI

寸法図

アール・アイローリング 10ton

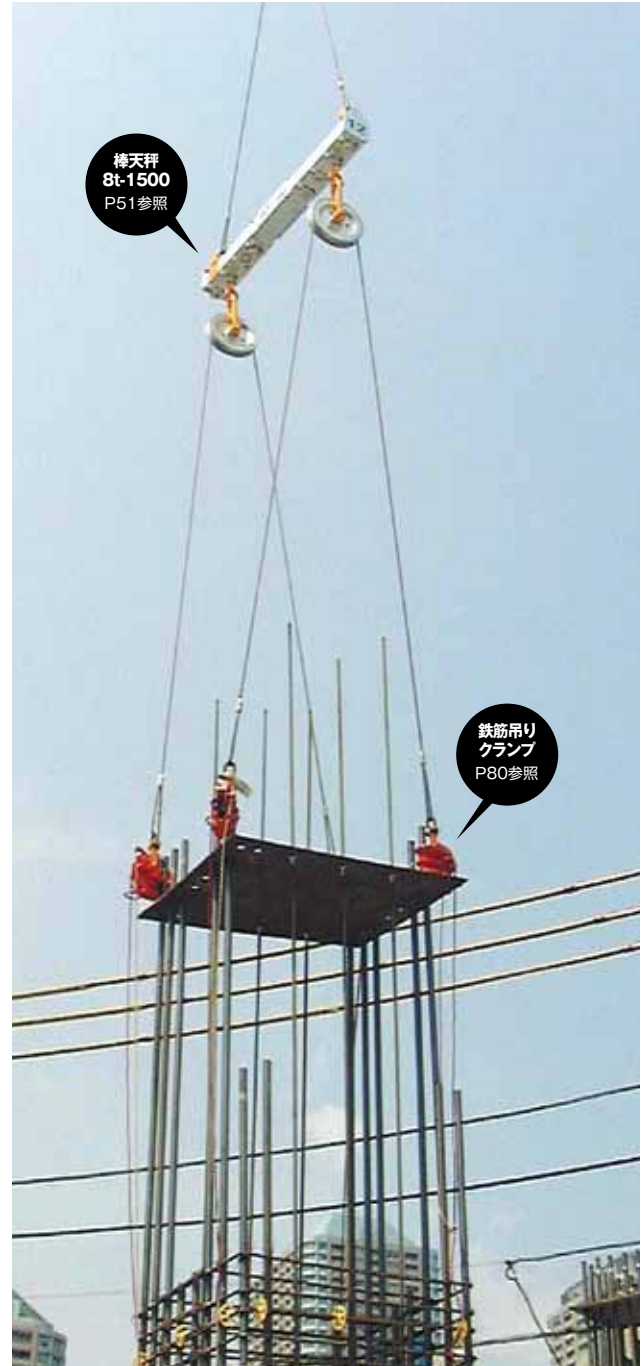
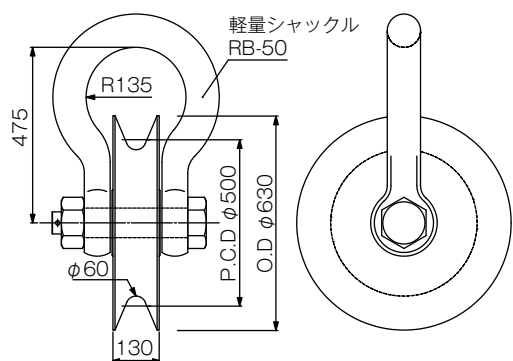
製品質量28kg
(シャックル含)

アール・アイローリング 20ton

製品質量77kg
(シャックル含)

アール・アイローリング 50ton

製品質量395kg
(シャックル含)

■10tonタイプは、ワイヤJIS 6×37%にて選定してご使用ください。

■20ton・50tonタイプは、ワイヤIWRC×Fi(29)にて選定してご使用ください。

ワイヤの折り曲げによる強度低下率

(%)

D／d ロープの構成	1	5	10
6×24%	50	30	25
6×37%	45	22	10
IWRC 6×Fi(29)%	45	25	15

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

RI チェーンエコライザー&コラムロック

製品コード：CE & SF

リース

東京アール・アイ仕様は標準品より高低差が大きい!

鋼構造物の吊り上げにおいて、吊り点の高さが変化する引き起こし、反転作業に最適です。

※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

特長・概要

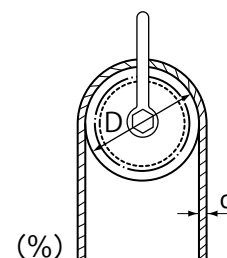
簡単操作

チェーンエコライザーは、鋼構造物や鉄コラムを簡単な操作で、素早くバランス吊りができるように開発しました。

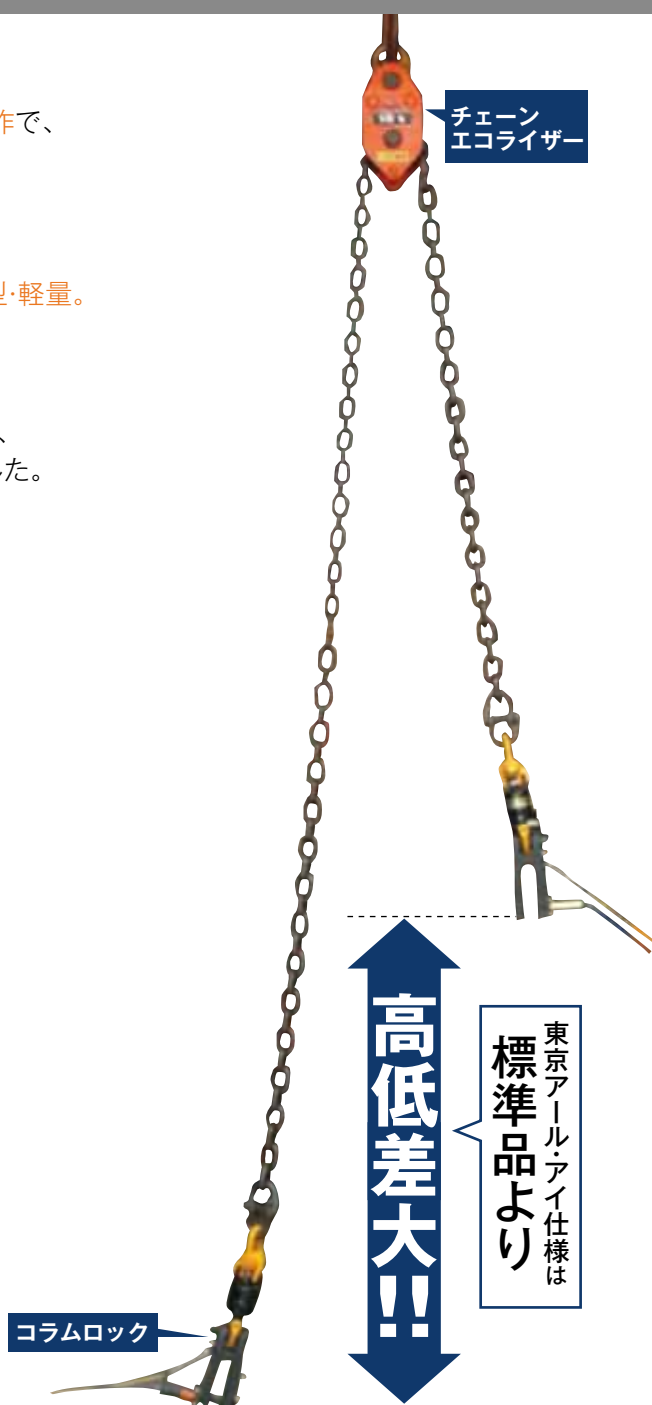
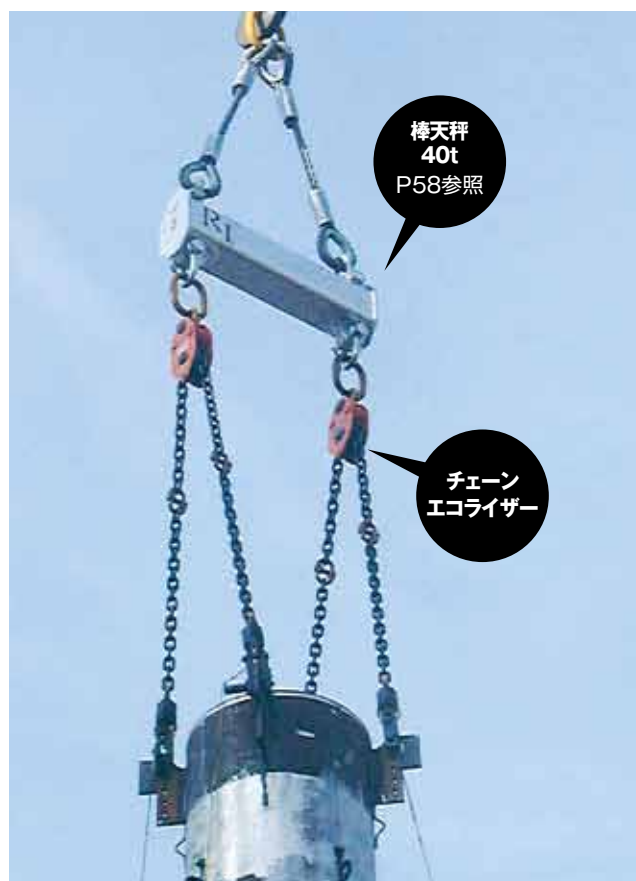
小型軽量

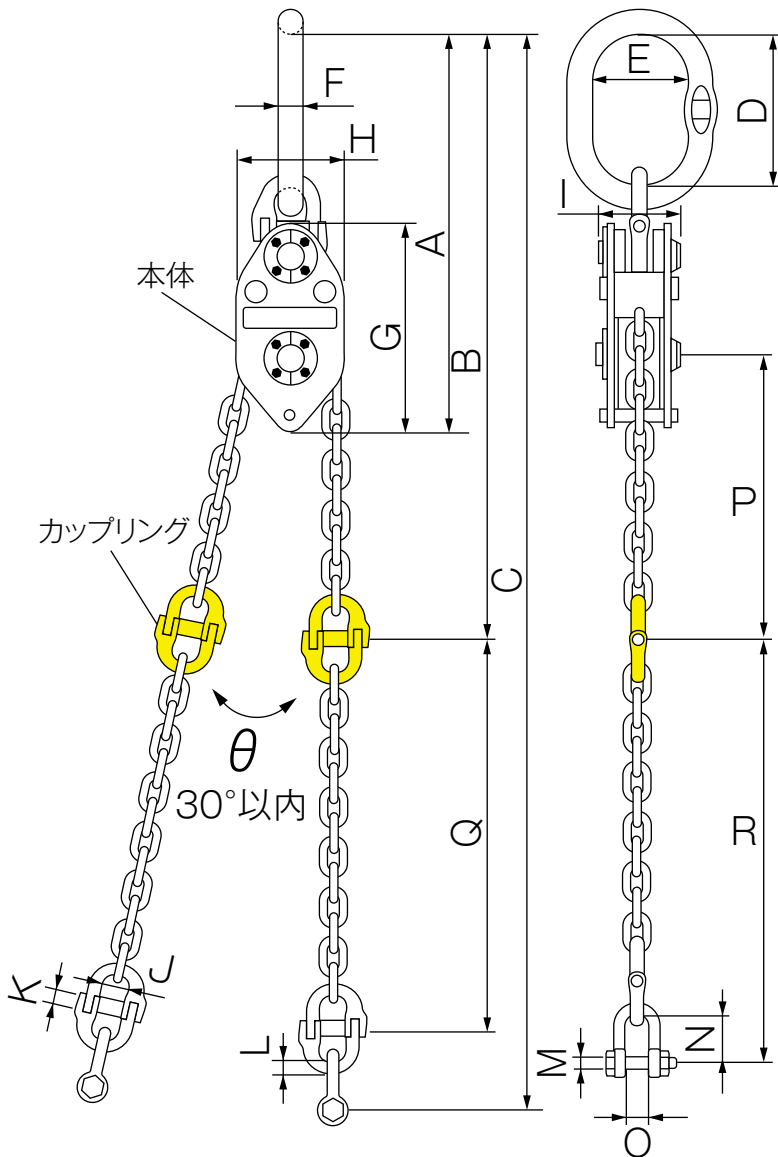
耐摩耗性・屈曲性に優れた強力チェーンの採用により、小型・軽量。

遠隔操作

チェーンエコライザーにコラムロックを接続することにより、玉掛けの取り外し作業が、遠隔操作で行えるようになりました。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

チェーンエコライザー

製品コード：
CE-10/CE-20/CE-20L

高低差の寸法図・形式別寸法一覧表

図①　θ吊り角度30°以内

形式		CE-10	CE-20	CE-20L
定格荷重	t	10	20	20
製品質量	kg	55	100	105
全体	A	672	800	800
	B	1220	1505	1850
	C	2819	2886	3231
マスターリンク	D	267	250	250
	E	133	150	150
	F	38	40	40
ボディ	G	325	450	450
	H	160	220	220
	I	115	135	135
カップリング	J	29	43	43
	K	33	48	48
	L	15	22	22
シャックル	M	21	32	32
	N	72	104	104
	O	29	41	41
	P	690	860	1205
	Q	1444	1210	1210
	R	1572	1381	1381
高低差		1200	1450	2200

(mm)

○カップリングを本体に当てての一点吊りはできません。(図①参照)
○チェーンエコライザー単体使用時、吊り荷に取り付ける際は、必ずチェーンのよじれていない事を確認して下さい。
○吊り角度は、30°以内でお願いします。
※定格荷重は、吊り角度30°以内の数値です。

※リース品と販売品の寸法は異なります。本表はリース品の寸法です。

RI コラムロック

製品コード：SF-5/SF-10　リース・販売

特長・概要

操作ワイヤによる遠隔操作方式

コラムロックは操作ワイヤによる遠隔操作方式を採用しました。

2000V絶縁スイベルが標準装備

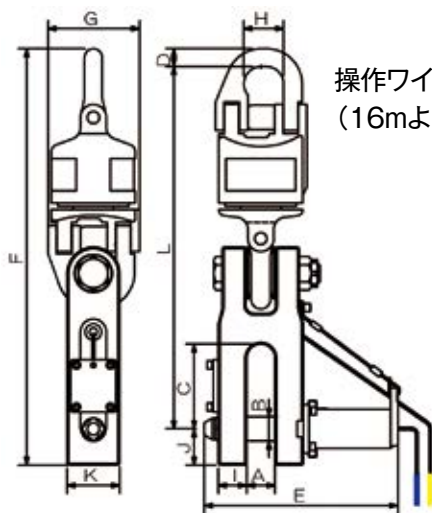
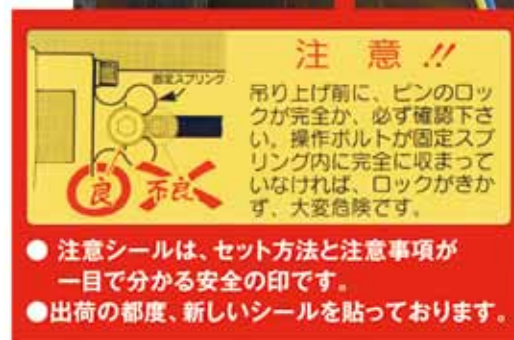
2000V絶縁スイベルが標準装備されており、工事現場周辺のマイクロウェーブ等による高所作業で多発する感電事故から作業者を守る事ができます。

2重ロック機構方式

セットピンを本体両サイドから固定し、開口部の開きを防止するストッパープレートと、万一作業者の不注意により作業中セットピンのロックが外れてもセットピンがすぐに抜けるのを防止する固定スプリングの2重ロック機構方式になっております。

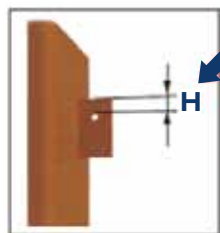
注 意 !!
吊り上げ前に、ピンのロックが完全か、必ず確認下さい。操作ボルトが固定スプリング内に完全に収まっていなければ、ロックがきかず、大変危険です。

● 注意シールは、セット方法と注意事項が一目で分かる安全の印です。
● 出荷の都度、新しいシールを貼っております。

寸法図

操作ワイヤは16mを標準とします。
（16mより長くしてのご使用はできません。）

※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

形式	定格荷重	製品質量	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
	t	kg												
SF-5	5	9.5	26	18	103	15	197	410	85	29	28	32	54	363
SF-10	10	19	35	30	105	22	240	521	115	43	35	45	65	454

（mm）

吊りピースのH寸法を調べ、
吊り荷重量限度以内でご使用ください。

H寸法によって使用荷重がかわりますのでご注意ください

吊りピースH寸法が35mmでコラム重量が9tである場合、H=30mm～40mmの所を見ると、5tコラムロックと10tチェーンエコライザーでは、重量限度が7.2tになっているので使えません。
1サイズ上の10tコラムロックと20tチェーンエコライザーを使うことで、対応してください。

1サイズ上を使うことで、セットピン･ピン径が大きくなりますので、穴径が使用可能であるかも確認してください。

H寸法（mm）	吊り荷重量限度（ton）	
	10tコラムロック2個とチェーンエコライザー20tの組み合わせの場合	5tコラムロック2個とチェーンエコライザー10tの組み合わせの場合
H=70mm	20.0	10.0
60以上70未満	19.2	10.0
50以上60未満	16.5	10.0
40以上50未満	14.1	8.8
30以上40未満	12.0	7.2
20以上30未満	-	5.8

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様･寸法･材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

RI 点検表

当社の点検！

毎回分解 ▶ **検査測定**

により確かな安全を提供しております。

製品検査工程

1.返却時

変形等が無いか検収します。

2.分解

分解し、細部まで確認し、洗浄。
シャックルは塗装します。

3.組み立て

新しいワイヤを取り付けし、ボディの開き等各部測定します。

4.機能確認

テスターで操作ワイヤ、引っ張り力を調節します。

合格基準に満たない製品は絶対に出しません

当社では必ず『製品検査報告書』を出荷時にお付けしています。

測定見本

5tコラムロック確認シート

ボディ刻印	123456

寸法測定結果

				測定値	合格基準
A-1	ボディの口の開き	項目 10		26.50 mm	28 mm 以内
A-2	セットピン、吊りピースと接触し摩滅する部分軸径	項目 13	上下方向	17.60 mm	17.3 mm 以上
			左右方向	17.70 mm	17.3 mm 以上
A-3	セットピン、先端円筒部分軸径	項目 12	上下方向	16.80 mm	16.5 mm 以上
			左右方向	16.80 mm	16.5 mm 以上
A-4	ボディセットピン穴が拡大していないか	項目 11	上下方向	18.90 mm	19.1 mm 以内
			左右方向	18.80 mm	19.1 mm 以内
A-5	ストッパースプリング自由長が減少していないか	項目 9		50.10 mm	49 mm 以上
A-6	スイベル上下間隔が広がっていないか	項目 19	圧縮時と引張時の差	0.70 mm	2 mm 以内

確認項目

				チェックマーク
B-1	固定スプリングの使用期間は、限度内か (3年)		項目 1	√
	ストッパースプリングの使用期間は、限度内か (3年)			√
B-2	セットピンは旧型ではないか		項目 5	√
B-3	セットピンの引っ掛かり部分に、目視でわかる変形がないか		項目 14	√
B-4	ボタンヘッドボルトが使われていないか		項目 4	√
B-5	スプリング受けのホロセット跡が2カ所以上になっていないか		項目 16	√
B-6	ストッパープレートは旧型ではないか、目視で変形が認められないか		項目 7·15	√
B-7	固定スプリングは旧型ではないか		項目 2	√
B-8	注意書きシールは付いているか、読めるか		項目 23	√
B-9	青色ワイヤ引っ張り力は調整したか (6~13kg)		項目 24	√
B-10	黄色ワイヤ引っ張り力は確認したか (6~13kg)		項目 25	√
B-11	スイベルの回転はスムーズか		項目 18	√
B-12	ロッキングピンとカラーに異常がないか		項目 20	√
B-13	項目20に異常がある場合、スイベルとカップリングの穴が楕円になっていないか		項目 21	√
B-14	セットボルトに変形·傷がないか		項目 17	√
B-15	操作ワイヤに異常がないか	青色	-	√
		黄色	-	√
B-16	各部分に有害な局部摩耗·変形·亀裂が認められないか		項目 22	√

確認年月日 ○○○○年○月○日

確認者 所属 東京アール·アイ株式会社 氏名 東京 太郎

※ 同一項目について、右枠外の期間以内に合格した記録があれば、測定値·チェックマークのかわりに前回の合格年月日を記入すること。右枠外に無記入の項目は、毎回確認が必要です。無期限とある場合、1度合格すればその後の確認は不要となる項目です。この場合は、合格年月日を記入して下さい。全項目について、測定値、チェックマーク、あるいは前回合格年月日の記載でうめて下さい。

書式No. 560128-5-D

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様·寸法·材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。